

かたがたの子

11月号

令和6年10月25日
全校児童数 76名



全国学力学習状況調査報告 方県小学校の学力は全国トップレベル！

毎年、全国の小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査（小学校は、算数・国語・アンケート）が実施されます。今年5月に実施された結果が本校に届きましたので、ご報告します。

本校の算数は、全国や岐阜県の平均点を大きく上回り、全国ランキング第1位の東京都と同じ得点でした！

また、国語は、全国や岐阜県の平均点を大きく上回るだけでなく、全国ランキング第1位の秋田県の平均点よりも大きく上回る得点でした！

どうしてこんな結果に？

素晴らしい結果には、これまでの学習や生活の仕方に要因があります。今回、本校が素晴らしい結果を得られた主な要因を次のように分析しました。

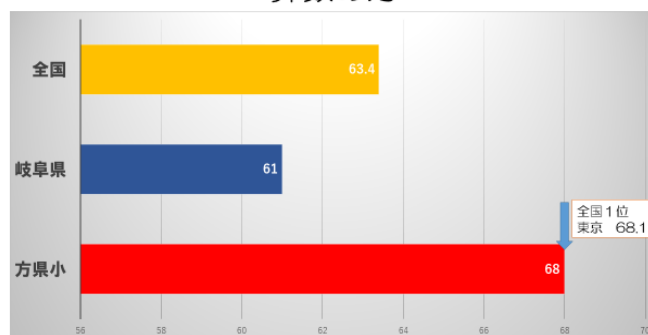
1. 家庭・地域環境の影響

読書習慣や家庭での会話の質、保護者の教育に対する意識が高い家庭では、子どもが論理的思考や問題解決能力を自然に身につけやすくなるといわれています。方県地区は、学校教育に協力的な保護者や地域の方が多く、学校と家庭、学校と地域が互いに尊重しながら円滑に子供の教育を推進できています。このことが子供たちを健やかに育てる強固な基盤となっています。

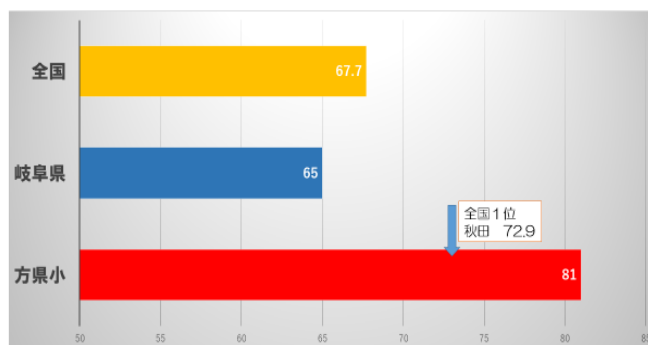
2. 互いの違いを認め合う異年齢学級の学び「方県なかよしスクール」

同年齢同学級だけでの生活は、「同年齢であれば能力は一律である」といった固定的な見方で他者と比較することで、優越感や劣等感を背景としたさまざまな問題が発生することにつながります。

算数の力



国語の力



そこで、本校は、互いの違いを認め合い、みんなの幸せを異年齢の児童で創る「方県なかよしスクール」を展開しています。異年齢学級での探究活動は、子供たちに「みんなと違っていいんだ!」「違うことは当たり前なんだ!」という意識を生み、自分の中にあるよさや可能性のスイッチが次々とオンになっていきます。「比べなくても自分らしくてよい」ことを知った子供たちは、互いの違いを尊重しながら自信をもって生活しています。

3. 授業の質「学び合い・自由進度学習」(探究型・問題解決型学習導入)

教師が指示し子供は言われた通り学ぶ授業だけでなく、生徒が主体的・協働的に考える機会を提供する授業や、必要に応じてディスカッションや発表など表現力を鍛える場があると、学力に影響を与えます。また、プロジェクトベースの学習や、問題を発見し、解決策を考え、実行するプロセスを重視した学習が取り入れられている場合、探究力が向上しやすい学びとなります。

そこで、本校では、昨年度より主体的・協働的に学ぶプロジェクト型授業「学び合い・自由進度学習」を取り入れ、授業を展開しています。教師が主導して学びを指示するのではなく、子供が自ら教科書を使って自律して学び、わからないところは仲間と聞き合っ、自分に合った内容や自分のペースで問題解決しています。教室の中は、得意や苦手は関係なく、誰一人取り残すことなくみんなで学び合うことができる安心した空間となっています。

＜前期子供アンケートより＞

○学校が楽しい・・・100%（当てはまる、概ね当てはまる）

○授業がわかりやすい・・・100%（当てはまる、概ね当てはまる）

- ・ 算数では「自由進度学習」で聞き合い、教え合いながら学べるので自分に合っていて楽しい。
- ・ 私たちの方県小学校では「学び合い」が活発で、教え合い、聞き合いができて声が掛け合えるから楽しくてわかりやすい。

他にも様々な要因が考えられますが、以上のことが主な要因として今回の結果を得ることができました。

今後も、子供たちにとって本校・家庭・地域が楽しく安心した空間であり続けることと、子供たちが互いの違いを尊重しながら、自律して学び、必要に応じて協働的に学ぶ教育を継続していきたいと思えます。

家庭、地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育にご支援賜りますようお願い申し上げます。